

## 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会への参画

日程：2024年6月7日～9日

場所：浜松市

参加：レイキ技能士2名（K氏、S氏）

アクトシティ浜松にてプライマリアケア学術大会に参加。  
地球規模の健康課題は地域医療との結びつきが必要である。  
誰ひとりを取り残さないを課題にあげた学術会。

食、自然、文化、音楽、最先端技術などを取り入れた  
ブースが並びました。

私たちはヨガをベースに、あらゆる文化のメソッド、  
人、薬学、伝統医療、エネルギー、アートの部門に参加  
しました。

（チーム内は他に、yoga、クラニオセイクラル、オステオ  
パシー、筋膜リリースと参加）9日の1日だけの参加で、  
約15名ほどがレイキの施術を受けました。

ほとんどの方がレイキことを知らない方でした。普段マルシェなどで活動していると7割  
の方がレイキを認識されています。

しかしながら医療機関においては、閉ざされた環境にあるのかもしれない。

施術はお一人20分ずつという短い時間でした。

みなさんとてもお疲れの様子でしたので、なるべく2人体制で頭と足からの施術をしまし  
た。受けてくださった皆様はリラックスされ、ご自分の体を整えられていました。

ただこれが具体的に医療と結びつくということに対して青写真がないと言うような印象を  
持ちました。

周りでは音楽、あらゆる会話などたくさんの音のする中での施術でしたが、私自身（K氏）  
はとても集中して施術することができました。お一人の方が統合医療としてこういったレ  
イキなどを取り入れるべく研究しているチームをお持ちということで、とても興味を持っ  
ていただきました。

他のメソッドの方々とのつながりを大切に、これからもよりたくさんの人にレイキの可能  
性、効果を体感していただけるよう活動していきたいと思えます。

（S氏感想）

「プライマリ・ケア2024」に参加させて頂きました。私はこの大会は初参加でしたが、レ  
イキや様々な代替医療やケアのブースを体験される方がお医者さんということで、どの様  
な反応があるのか少し楽しみでした。



全体で約 15 名ほどの体験者さんに施術をさせていただきました。

中には他のブースの出店者さんも体験にいらしたので全員がお医者さんではなかったですが、お医者さんは、ほとんど9割くらいの方がレイキを知らない、初めて聞いたとの返答でした。

身体に不具合がある訳ではなく、多忙による疲れを、特に頭や目、肩首、背中側にヒビキを感じるが多かったです。

お一人の方には

「手からとても熱い感覚が伝わった。手が温かいのですか？握手してください」と言われ手を握ってもらったら、お相手の方の手の方が温かくて、より驚かれています。

皆さん、体験されて温かさやスッキリした感や、それぞれの方に何かしらを感じてもらえました。

その先の医療にどう活かされるのか、まだまだ入口に立ったような感じですが、とにかくお医者さんに体験してもらえた喜びが私には大きかったと思いました。

ブースの中が所狭しと沢山の施術者さん達や、ヨガスペースもありましたので狭く賑やかな場所での施術でしたが、総合医療に対する熱い想いのあるハートフルなメンバーさん達と、それぞれの施術も語り合ったり、体験し合ったりと学び多き大会でした。

医療をテーマに、アートや音や、自然、民間療法等、様々なブースも展開していて、医療＝治す

から、患者さんだけでなく健康な方も含めた「幸せな生き方」を意図する大会にレイキとして参加させて頂けたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

このような機会がありましたらまた積極的に参加していきたいです。

